

平成30年度 高等部 職業技能シラバス(サービス班)

時数7時間/週

教科等のねらい

- ・各種職業に関する専門的な知識と技能を身に付け、職業の社会的役割を理解するとともに、より主体的に取り組もうとする実践的な態度を育てる。

主な指導内容

- ・接客サービスに関する知識・技能（カフェの実践を通じた接客の基本）
- ・清掃クリーニングに関する知識・技能（ビルクリーニングの基本）
- ・福祉介護に関する知識・技能（老人福祉、ホームヘルパーの仕事の理解と技術）
- ・ビジネスサービスに関する知識・技能（事務補助の基本）
- ・流通サービスに関する知識・技能（製造、バックヤード業務他）
- ・各種実習及び、技能検定
- ・職場体験（やいろジョブ）

評価方法

- ・評価の4観点（①関心・意欲・態度、②思考・判断・表現、③技能、④知識・理解）を基に観点を設定し、複数の職員による観察から客観的に評価する。
- ・単元の終段で実技検査を行い、個々の達成状況を評価する。

指導計画

月	単元名	指導内容（◎重点）	主な学習活動	評価の観点
4～10月	「清掃クリーニング」	○自在ぼうき、水モップダスタークロス の技能 ◎職業技能検定に向けた練習 ○あいさつ、報告の仕方	・タオルの扱い方、テーブル拭き ・自在ぼうきの扱い方 （職業技能検定5級） ・モップの扱い方（職業技能検定5級） ・ダスタークロス の扱い方 （職業技能検定5級） ・洗車の仕方、洗車サービス ・「小出駅清掃」「学園の自転車磨き」「営業所の清掃」などの地域に出向いた活動	③ ① ②
	「ビジネスサービス」	◎事務補助職員の仕事の理解と必要な技能	・データ入力（ワードを使ったポスター作り・名刺作り・広報原稿入力（通年））	②③

6～10月	「接客サービス」	◎接客の基本スキル	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者技能競技大会（アビリンピック喫茶サービス部門）見学 ・接客のプロから話を聴いて意識を高める。 ・講師を招いての講習（2回） ・接客練習（環境、動作、表情、挨拶、接待、身だしなみ、姿勢など） ・各種会議の接客サービス（通年） ・地域へ訪問しての喫茶サービス（通年） 	①② ① ④ ③
10～12月	「福祉介護」	○高齢者介護福祉の業務理解 ◎介護職員の役割と仕事内容の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いての講習（2回） ・高齢者疑似体験 ・障害理解 ・ベッドメイキング検定 ・車いす操作 ・洗濯、衣服たたみ、収納 ・栄養バランスを考えた食生活 	② ②④ ③ ①④
12月	「ビジネスサービス」	◎事務補助職員の仕事の理解と必要な技能	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品の使い方 ・封入の練習（折り方） ・ハンコ押し ・枚数確認して封筒に入れる作業 ・シュレッダー作業 ・リサイクル封筒、紙ゴミ箱、メモ帳づくり ・文書管理（仕分け） ・印刷の仕方 ・データ入力（広報原稿入力（通年）） ・市役所へ出向いて事務体験 	③④ ③
1～3月	「流通・製造」	○バックヤード業務の理解と必要な技能 ○物流と流通について ○製造・販売	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物の運搬（台車・カート） ・計量、袋詰め ・商品並べ（陳列・前だし） ・生産者から消費者に物が届けられる仕組みを理解する ・マーケティング、企画、計画、買い付け、製造、販売の工程の体験。 	①③④ ①④ ①②③
	「接客サービス」	◎接客の基本スキル	<ul style="list-style-type: none"> ・校内喫茶サービス ・地域へ出向いたコーヒーサービス 	① ②③

※5月～7月、9月～11月の週1回（9:00～11:00）職場体験（やいろジョブ）を実施する。

※「社会人をめざすための7箇条」を意識して学習を進める。

平成30年度 高等部 職業技能シラバス(生産班)

時数 7時間/週

教科等のねらい

- 各職業種の作業活動を通して働く意欲や態度を培い、将来の職業生活に必要な知識や技能を総合的に身に付ける。

主な指導内容

- 職場での対応の仕方(挨拶、返事、報告、身だしなみ、場に応じた言い方・マナー)
- 布クラフトに関する知識・技能(糸や布等を使った製品作り)
- エコクラフトに関する知識・技能(牛乳パックを再利用した製品づくり)
- 陶芸に関する知識・技能(粘土を使った陶芸製品作り)
- 農園芸に関する知識・技能(土おこし、種蒔き、除草、刈り取り、天日干し、収穫)
- 販売活動に関する知識・技能(販売ポスター書き、ラッピング、会計処理)
- 清掃技能に関する知識・技能(テーブル拭き、自在ぼうき、ダスタークロス)
- 苔玉づくり(体験)

評価方法

- 評価の4観点(①関心・意欲・態度、②思考・判断・表現、③技能、④知識・理解)を基に観点を設定し、複数の職員による観察から客観的に評価する。
- 単元の終段で実技検査を行い、達成状況を評価する。

指導計画

月	単元名	指導内容(◎重点)	主な学習活動	評価
4 ～ 3	「製品作り」 (グループ別活動) ※前期後期で交代	◎挨拶、返事、報告・依頼の仕方 ◎準備、後片付け、清掃の仕方 ◎道具の扱い方	※2グループに分かれて活動する。 ・身支度を整える。 ・手順表を見て材料から道具まで一人で準備する。 ・時間いっぱい集中して取り組む。 ・挨拶や報告を確実に行う。 ・片付け、掃除を丁寧に行う。 ・安全に気をつける。	①④ ③ ① ②
		<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> <p>主な活動内容</p> <p>グループ①【エコクラフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛乳パックをリサイクルした製品作り (ハガキ、カレンダー、クリップ等) <p>グループ②【布クラフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> 糸や布を使った製品作り (マット編み、さをり織等をローテンションで実施) </div>		

4 ～ 6	「清掃クリーニング」 ※希望者のみ	○テーブル拭き、自在ぼうき、水モップ、ダスタークロス の技能 ◎職業技能検定・発表会に 向けた練習 ○あいさつ、報告の仕方	・タオルの扱い方、テーブル拭き ・自在ぼうきの扱い方 ・モップの扱い方 ・ダスタークロス の扱い方	① ③ ④
7	「苔玉づくり」	◎あいさつ、話の聞き方 ◎敬語を使った話し方 ○用具の扱い方 ○苔玉の作り方	・明るくあいさつする。 ・説明を静かに聞き、返答する。 ・用具の扱い方を覚え、苔玉をつくる。	① ② ② ④
4 ～ 12	「農園芸活動」	○プランターでの花や野菜 の栽培方法 ○用具の使い方	・プランターへの花植え ・土おこし、種蒔き、除草、収穫	③④
6 ～ 2	「販売活動」 ・オープンスクール (7月) ・学習発表会 (10月) ・校外での各イベント (10月、11月) ※希望者のみ ・出張販売 ※サービス班に帯同 (2月) ・校内販売会(納会) (3月)	○販売ポスター書き ○お金の理解、会計処理 ○ラッピングの仕方 ○接客の仕方	・宣伝ポスターの作成 ・会計処理 ・商品のラッピング方法 ・接客の仕方、応対	① ③ ② ①
7 ～ 2	「陶芸」	○陶芸での器やコップ等 のつくり方 ※担当者が指定した生徒 のみ5名程度の2班編 成で前期・後期に分か れて実施	・用具の扱い方を覚え、器やコップ等 をつくる。	② ② ③ ④
通 年	あいさつ 報告 敬語を使った話し方 休憩時間の過ごし方	◎あいさつ ◎報告の仕方 ◎敬語を使った話し方 ◎休憩時間の過ごし方 選択の方法	・職業技能の中で、年間を通して指導 していく。	①③

※年に4回、職場見学(やいろジョブ)を実施する。